

第50回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会③】

日時：2024年12月4日（水）

全体会・部会①・部会②・部会③ 10:00～11:30(予定)

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川

次 第

【部会③】

(1)開会

(2)調査結果について

【資料1】

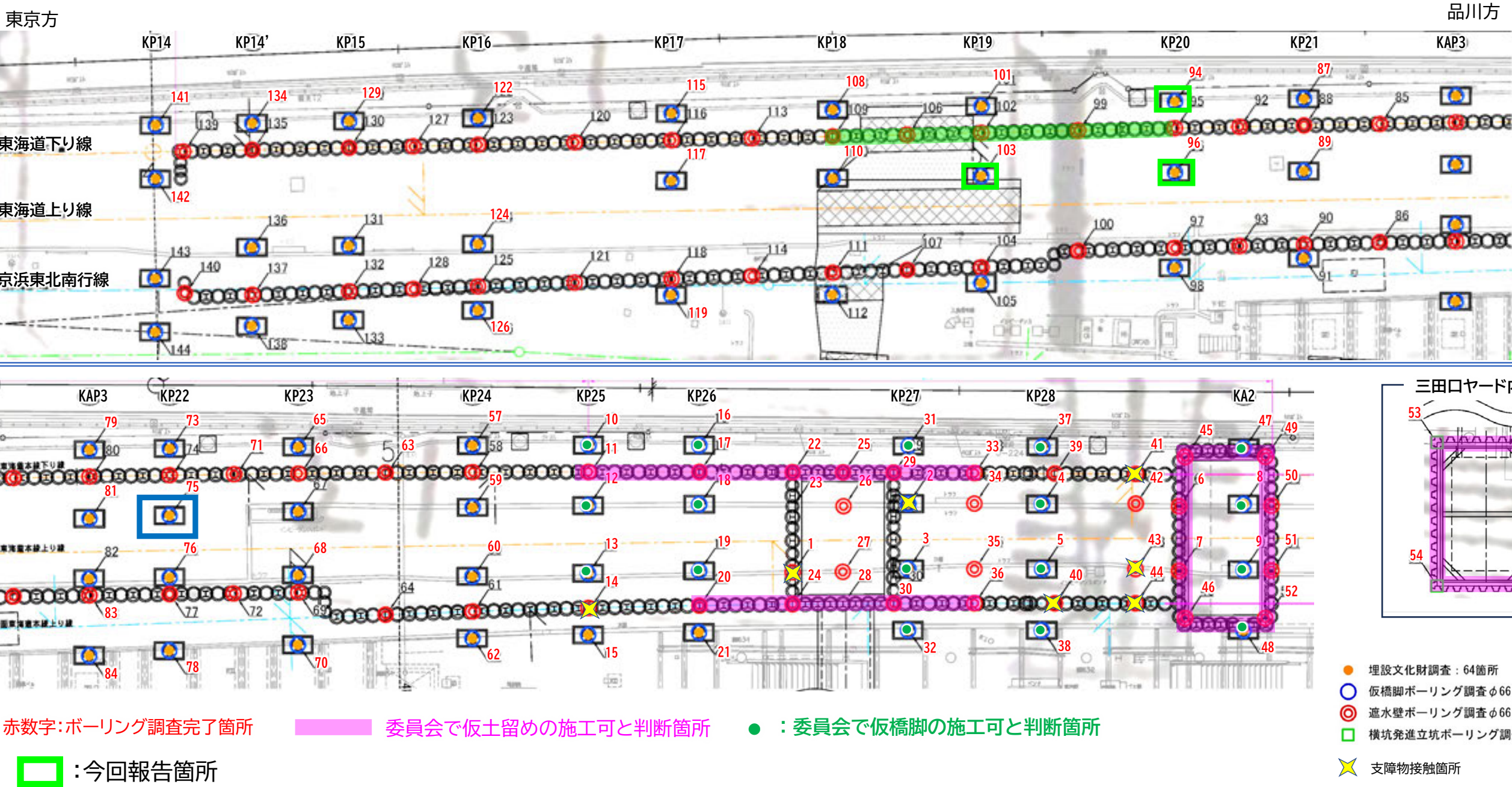
(3)松杭位置について

【資料2】

(4)その他

(5)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。



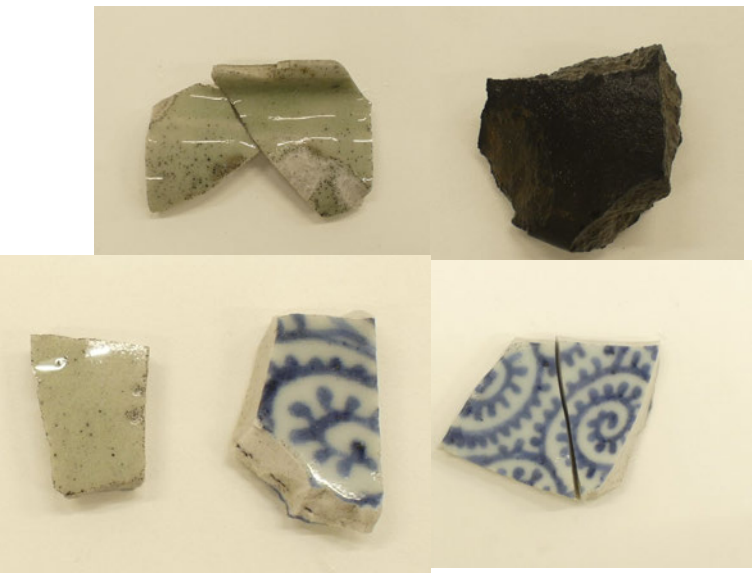
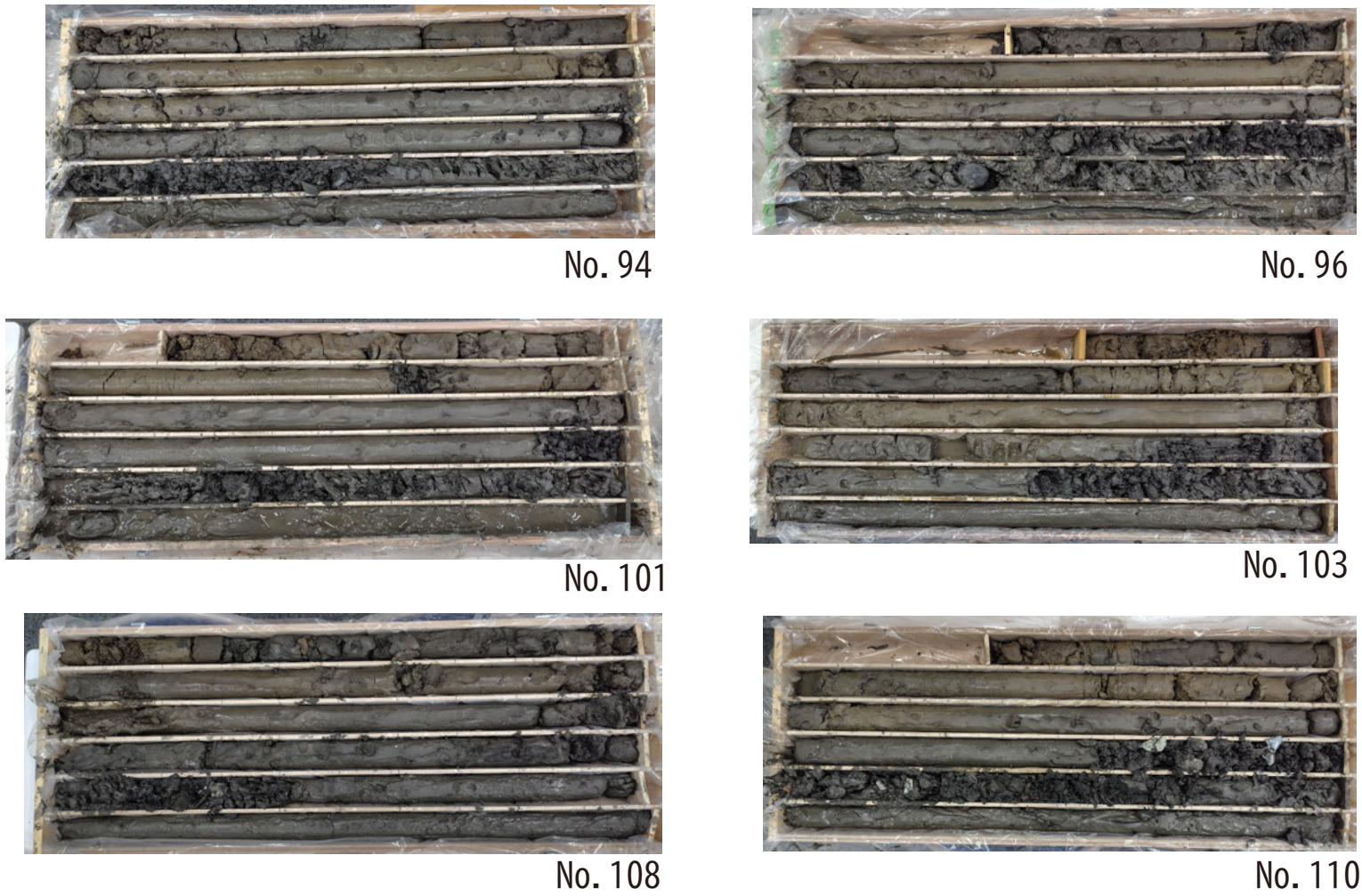
※KP23－2 No.67ボーリングは電気設備支障移転後のため、2025年度を予定

	KP14	KP14'	KP15	KP16	KP17	KP18	KP19	KP20	KP21	KAP3	KP22	KP23	KP24	KP25	KP26	KP27	KP28	KA2
－1								調査完了				調査完了	調査完了	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可
－2							調査完了	調査完了	調査完了	調査完了	2段目 調査中 ※支障物出現	※	調査完了	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可	・No.12加工 木対応中	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可
－3												4段目 調査中 ※支障物出現	調査完了	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可
－4																	・調査済み ・施工可	・調査済み ・施工可

資料1-2



資料1-3



ボーリングコアから検出した遺物

-  灰色粘土（浚渫土）
 粘土層
 シルト・砂層
 自然堆積
 遺物

- ・ 構造物は確認されませんでした。
- ・ 自然堆積層はT. P-2. 1～2. 5m程で確認されました。
- ・ No. 110の海砂層で小片の遺物(江戸時代)を検出しました。

KP26-2 4 段目 出土遺物について

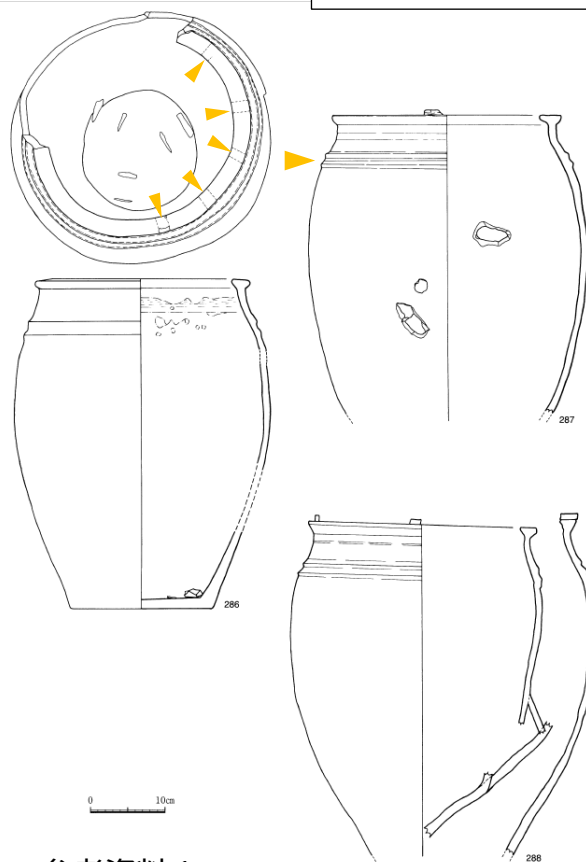
資料 1-4



KP26-2 出土 薩摩焼 甕

- ・ 肩部に二重圈線が入る形状等、特徴から薩摩焼であることが分かった。
- ・ 目積みを使用されたコマ目の痕跡が確認された。コマ目を使用される時期から、出土した甕は 19 世紀代の製作と考えられる。

※目積みとは、粘土塊や貝等を器と器の間にかまして重ね焼きする方法



参考資料 1

第63図 甕類 (1)

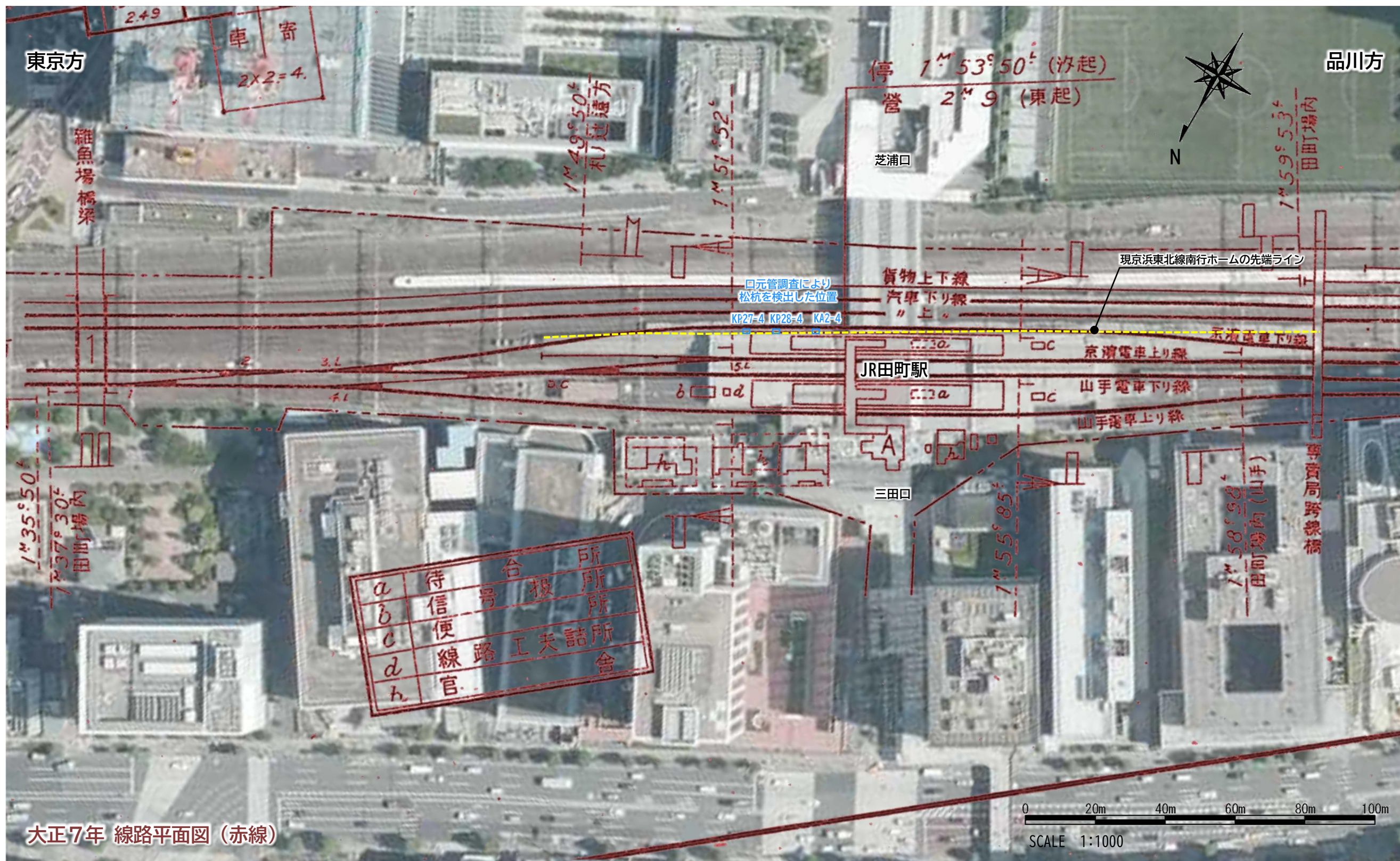
図版 18



参考資料 2



前回委員会で報告した松杭位置と航空写真（2019）、線路平面図(1918)の重ね合わせを実施。
→検出した松杭の位置は、現ホーム位置とほぼ同一であった。



前回委員会で報告した松杭位置と最古の航空写真（1936）、線路平面図(1918)の重ね合わせを実施。
→検出した松杭の位置は、1936年時点のホーム位置とほぼ同一であった。

